

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	高知県指定第3972100477号
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホームやす
訪問調査日	平成 19年 7月 19日
評価確定日	平成 19年 10月 25日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	高知県指定第3972100477号
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホームやす
所在地 (電話番号)	高知県香南市夜須町坪井804-19 (電話) 0887-1354-12

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年7月19日	評価確定日	平成19年10月25日

## 【情報提供票より】(19年 6月 30日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 6月 19日
ユニット数	2 ユニット
職員数	14 人
利用定員数計	18 人
	常勤 13 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 13.27人

### (2) 建物概要

建物形態	併設/ <del>単独</del>	新築/改築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33000~37000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4) 利用者の概要(6月30日現在)

利用者人数	13 名	男性	4 名	女性	9 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 77.4 歳	最低	68 歳	最高	96 歳

協力医療機関名	南国中央病院・鏡診療所・なごの歯科	2
---------	-------------------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設約2年を経過したホームである。常に利用者の思いを大切に、寄り添い、利用者を中心に取り組む姿勢が見られるホームとなっている。又、管理者の地域に溶け込もうとする姿勢は評価できる。国道沿いに立地し、交通量も多く、利用者の安全の確保という観点から、管理者、職員は気を抜く事はできないであろう事は想像できる。居室は、クローゼットがあり、居住スペースがゆったりとしており、利用者に配慮された造りとなっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で、介護計画の作成と見直し、地域や行政との交流事項の改善点があった。課題を認識し改善されつつある。しかし、今回の評価においても、介護計画そのものを知らない職員がおり、職員全員が、誰のための介護計画で、何故立てなければならぬのか等、早急に研修されることを期待したい。前回の門扉に鍵を掛けない改善点は、玄関の出入りにチャイムや利用者の動きに注意するなど改善されていた。地域推進運営会議において外部評価の報告はされていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が交代し、短期間ではあるが前向きに取り組んでいる。職員全体で取り組み、この外部評価の目的や意義を認識されることを期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は始めたばかりであり、ホームの活動内容の報告が中心となっている。管理者が地域にいかに関わり溶け込むか模索され努力されていることは評価に値する。今後、今回の外部評価等による課題点について、関係者から意見を聞き、改善につなげていく工夫も必要である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族には来訪時に、利用者の暮らしぶり等の報告は出来ている。今後、家族会の結成、ホームでの暮らしぶりや行事の案内等のために定期的にホーム便りを出す予定もあるが、早急にこれらに対応されることが望まれる。利用者や家族とは、馴染みの関係を大切に、家族が相談や苦情を言いやすい関係性の構築を期待したい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流は、小学校の運動会や幼稚園の行事等への参加に取り組んでいる。漁業の町の特性を活用し、多いに地域に出かけ、地域の中でより一層 " 当たり前の生活 " が出来る取り組みに期待したい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔法人本部の共通の理念に、ホーム独自の理念として安全と安心落ちついて過ごせる場の提供を踏まえた理念である。〕 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔 〕	○	地域密着型サービスの役割を考え、地域住民との交流のもと、今までの生活が継続できる理念について検討されることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔朝の申し送り時に話し合いを持ち、ネーム入れの裏に理念のカードを入れ、常時携帯することで職員の意識づけがされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔 " 利用者の思い " を大切に、主人公は利用者であることが分かるホームとなっている。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔町内会への参加には至っていない。区長とは日常的に話しもしており、地域の小学校の運動会への参加をお願いするなど、少しずつ前進している。〕 <input type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域との交流の必要性は理解できており情報の収集に努めているが、実行には至っていない。〕	○	今後、地域の清掃活動などにも積極的に参加し、また利用者と共に地域のお祭り等の行事に参加するなど、利用者一人ひとりが地域の一員として暮らすことが出来るよう、ホーム側から地域に出かけ、近隣住民との触れ合いが出来るような取り組みを期待したい。
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔管理者、職員の離職等により、在籍する職員に周知徹底ができておらず、外部評価の取り組みに至っていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔改善計画は作成され実践はされている。職員全員への周知徹底が求められる。〕	○	ホーム会は月1回開催されており、その中で、自己評価のねらいや活用をしっかりと理解され、自己評価の各項目を職員も含めて確認することが必要である。職員が一丸となって改善に向け取り組まれることを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔会議の報告書は作成され、参加者からさまざまな意見が出されている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔管理者は、今年度から就任されており、昨年の評価結果等について前管理者から意見等を聞くには至っていないが、管理者自らが地域の中いかに溶け込んでいくか模索され、努力されていることがよく分かるホームである。〕		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  〔ホーム運営についての課題等の問い合わせを積極的に行うなど、またホームでの事故報告書なども提出され、その後の経過も報告できている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔面会時には、利用者の近況報告を行い、家族との信頼関係は構築されている。〕  <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔ホームの広報紙発行を検討中である。利用者の日々の暮らしを知りたいという家族の思いを考慮され、ホーム便り等を発行されることを期待する。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔近況報告として心身の変化や事故報告等については随時報告している。〕  <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔金銭管理は家族の面会時に出納帳を明示しているが、家族のサインがない出納帳がある。原則として金銭管理はホームで行わないことになっているため、お金を全く持たない利用者もいる。〕	○	お金を自分で持ち、買いたい物を自分で選び、自分でお金を支払うことは、当たり前の生活である。お金を持たないために買い物のための外出が少ないこともあるので、金銭管理のあり方を、契約書も含め検討されることを期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族への情報発信は今後の課題であり、家族会を結成し、家族が意見を気軽に言える場所等の検討を早急にされることを望む。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔現行においては、家族の訪問時に職員が直接話をするのみで、家族からの苦情はない。家族の面会も少ない。〕	○	あらゆる機会を設けて、家族とのコミュニケーションをとることが必要である。ホームの行事への家族の参加や家族同士の話し合いの場の設定などについて、職員全員で話し合いを持つことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○ 印)	
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔管理者をはじめ、職員の異動や離職が短期間にあり、馴染みの関係は事業所側の都合で保つことが出来なくなっている。今後法人本部にも検討してもらう必要がある。〕 <input type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔管理者の交代は1週間程度の引継ぎ期間はあるが、職員の交代の引継ぎはなく、どちらかといえば利用者が混乱を起こさないために、新しく採用した職員については当初は利用者とはあまり接触を持たないようにしている。〕	○	なじみの関係は利用者や家族にとって重要である。離職の背景を探り、なじみの関係が壊れることがないような対応について、法人本部と話し合いをされることを望む。新しく採用された職員は、利用者のダメージを少なくするため、接触を避けるという配慮を管理者はされているが、きちんと職員を紹介し、理解を得る努力をする中で利用者との信頼関係の構築に努められることを期待する。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔法人本部の研修、外部研修にも参加し、報告書を提出できていた。ただ、外部研修の案内はあるが、公休を利用し個人として参加することが多くなっている。〕 <input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔 〕	○	月1回の定例会で、伝達講習を行っている。研修の報告書を整理され、職員全員が必要な時いつでも閲覧できる仕組みづくりを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔県内のネットワークに加入されており、情報交換までには至っていないが、研修には参加されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔法人自体が数箇所のグループホームを運営しており、管理者同士の話し合いの場は設けられている。〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔入居時に生活歴等については把握するように努めているが、利用者によっては、十分な情報量とは言い難く利用者をイメージできるものに至っていないものもあった。〕 <input type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔体験入居は開設以来ないが、入居のための見学等は歓迎し、個別の相談にのり、利用者が安心して入居できるよう努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔基本的には管理者が面接を行っているが、必要があれば法人本部の責任者が同行する場合もある。〕	○	今後、ホームの特徴をアピールしたり、体験入居など積極的に行うことを望む。また生活歴等の情報の収集は十分であるとは言いがたく把握に努められ、職員が利用者とは関係の中で気づいたことについては追加して記録するなどの取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<input type="checkbox"/> 本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [ ]  <input type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [感情の共有等には努めている。]  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [利用者の趣味や得意なことを把握し、職員は人生の先輩として尊敬し、日常生活の中で昔ながらの知恵を習ったり、利用者の得意なことなど、教えてもらう場面づくりに工夫されている。]	○	「利用者の思いを大切に」をモットーに支援されているが、その思いを大切にあまり、食事の準備に参加する利用者はなく、食事ができるのを座って待ってられる。また、外出等も決まった利用者のみが参加する等の傾向が見受けられる。地域密着型サービスの根幹でもある「共に過ごし、学び、支えあう」関係性をどのように構築すればよいかが職員間で検討されることが望まれる。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [日々の暮らしの中で声をかけたり、何気ない会話から、その思いを察知する様に努めている。]  <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [利用者や家族から情報の収集には努めているが、集められた情報が記録として追加されることが少ない。得られた情報は職員間で共有出来るよう記録に残されることを期待したい。]		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<input type="checkbox"/> チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [ホームとして、家族との接点がないことが課題であり、意見や要望の反映までには至っていない。プランは個性が少なく、画一的なものとなっている。]  <input type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [職員の離職や異動により、介護計画の存在を知らない職員がいる。プランに沿ったサービスの提供も一部実践されているが介護記録にない。]	○	全職員の参加ではないが、カンファレンスは行われている。利用者、家族の参加には至っていない。プランはその人らしく暮らし続けることを支援するものでなければならない。介護計画についての学習等を含め、職員全員で取り組む必要がある。プランにサインのないものもあるので、今後の取り組みに期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔変化もなく、家族の要望等もないため、設定期間以外は見直しはされていない。安定している利用者でも、月1回位の見直しを検討されたい。見直すことで早期に変化を把握することが出来る。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 〔法人母体の経営する協力病院がホームの近くにあり、月2回の往診や歯科医院との連携も図れている。医療連携体制加算の指定も受けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔医療連携体制加算、協力病院との連携は密に図れ、体制はあるが、該当する利用者はいない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔通院の支援や外泊の希望があればいつでも対応している。利用者や家族の要望に柔軟に対応しようとする姿勢が窺える。〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔協力病院を受診する場合は家族の同意を得、家族の希望する病院の受診にも支援ができています。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔協力病院が一律にかかりつけ医となるのではなく、入居前の病院に受診している利用者もおり、受診の自由は確保されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔家族への連絡、報告、受診の結果はバイタルチェック表の特記事項として記載し、職員間で共有出来ている。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔看取りの指針、マニュアル等は未整備ではあるが、利用者の家族に対しては、入居契約時に話し合い要望等を話し合っている。協力病院の医師とも連携は保たれている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。 〔医療連携体制加算の指定を受け、協力病院、法人母体の病院とも連携がとれ、24時間対応できる体制にある。〕		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○ 印)	
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔日々の暮らしの中で、庭の水まき等、利用者の中で自然発生的に役割は出来ているが、職員間でこの役割を十分認識できていない。〕  <input type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔職員は、さりげなく支援できているが、具体的な役割や活動に至っていない。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため、職員は働きかけを行っている。 〔一人ひとりの利用者の役割や楽しみを見つけ出すための場面づくりに対する支援が少ない。利用者の " 思いを大切に " をモットーに支援されているが、利用者をお客様として対応されているように見受けられる。〕	○	利用者の「できること」等の情報を収集され、出来ることには、職員が気を遣わずお願いするなど、場面づくりを意識的に設定されることを期待したい。
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔近くの神社やコンビニエンスストアーなど、利用者の要望に応じて外出している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車椅子利用の利用者も、他の利用者と一緒に地域の神社等に外出されている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔散歩はほぼ毎日実施されており、ドライブは週2回程度と外出には積極的に支援できている。今後、外出を嫌がる利用者の外出支援への工夫を期待したい。〕		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔ホームが国道沿いにあり、交通量が多く前回の外部評価までは、門扉に施錠していたが、現在は時間は限定しているが施錠することなく、自由に入出入りできるようになっている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔利用者一人ひとりの傾向を把握し、個別に対応がなされている。〕  <input type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔地域との連携は消防署のみで、今後は、運営推進会議を活用し、近隣の人や商店等とのつながりを強めていくことが必要である。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔火災訓練は、地域の消防署の協力を得て実施できている。今後の災害訓練は、地域の住民の人たちを巻き込んで実施されることが望ましい。〕  <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器の設備は確保されているが、非常時の食料品、備品は最低3日間分の備蓄は必要である。〕	○	運営推進会議を活用し、地域住民の人たちと合同の災害訓練をされたい。ホームの現状を地域の人たちを知っていただく機会でもあり、積極的な声かけが望まれる。利用者の安全を確保する上で災害マニュアルを作成されることが望ましい。また、緊急時に最低限持ち出せる書類等を指定場所を定め保管することが望まれる。

(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔偏りのない食事サービスが提供され、食事、水分摂取量は把握できている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔利用者の希望を聞き献立に反映し、四季の食材を取り入れるなどの工夫が出来ている。〕  <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔行政の保健師等、又は、本部法人に管理栄養士もおられるので、日頃の献立について専門的なアドバイスをもらう仕組みづくりを期待したい。〕		
----	----	---	---	--	--

2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

(1)居心地のよい環境づくり

29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔全体的にゆったりとし、スペースも広くとっている。食卓の配列が利用者の希望に添い、あちこちに置かれていたが、違和感はない。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔壁面等の装飾は、家庭的な雰囲気壊さずバランスの取れた空間になっている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔季節のあじさいの折り紙や、七夕飾り等、四季を感じることでできるものとなっていた。あじさいの造花が挿されていたが、造花ではなく、野の草花を一輪活けられるなどの配慮もされたい。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔入居時に家族からの情報をもとに利用者ごとの特徴について把握し、それに沿った工夫が見られた。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔馴染みの物を持ち込んでいる利用者もいるが、それぞれ個性的な居室となっている。居室にはクローゼットが設けられており、整然とした居室である。〕		